国連安保理対北朝鮮制裁

制裁違反の傾向及び実務上の課題

竹内 舞子

国連安保理北朝鮮制裁委員会
専門家パネル委員 2020年中間報告書

8人のパネル委員による調査報告（NYベース）

中間報告書　2020年9月に安保理に提出

2020年2月から8月までの状況を中心に報告

内容

１．最近の核・ミサイル計画動向

２．海上輸送関連の制裁違反、漁業権売買、輸出入制限

３．不正輸出、制裁指定個人、企業の活動、海外労働者

４．金融関連の違反事例

５．制裁の意図せざる効果

６．加盟国による履行報告書提出状況

北朝鮮による核、ミサイル開発

核プログラム

１．ウランの生産の継続。カンソンの濃縮施設？

２．プルトニウム抽出？

３．軽水炉の建設継続

４．プンゲリ試験場の現状

５．小型化、「核戦争抑止」

ミサイルプログラム

１．３月に４回の短距離弾道ミサイル発射実験

２．関連施設の活動は継続

WMD関連制裁履行の課題

１．デュアルユース品の調達関連の活動

- 水酸化リチウム、高純度黒鉛、ステンレス鋼などの調達
- 輸出規制リストに掲載されてない品目、スペックの貨物
- 海外提携企業、海外子会社
- 中古市場、転売

２．無形技術移転（ITT）

- 学会、海外との学術交流
- 学会誌のレビュアー
- 海外研修

（出典：朝鮮中央通信）

海外で収入を得ている北朝鮮国民の送還義務

決議2397（2017年）第8項：海外月以内の送還で収入を得ている北朝鮮国民の24ヶ月以内の送還

- 中国に約５万人、ロシアに約３万人
- 中東、アフリカ、アジア、ヨーロッパなど40ヶ国以上
- サービス産業従業員、工場、建設の作業員だけでなく、医師、プロスポーツ選手、ITエンジニアも

出典：Football Italia

海外で収入を得る北朝鮮国民の送還に関する制裁履行上の課題

1. 各国の履行上の課題
   - 各国国内法の未整備、履行上の課題
   - 労働許可の禁止との混同
   - 北朝鮮による国境封鎖
   - 下請け、アウトソーシング

２. 決議に内在する問題
   - 決議の解釈
   - 履行報告書の内容？

大量破壊兵器開発のための資金調達、金融取引の禁止

- 外交官による金、現金等の密輸
- 金融機関へのサイバー攻撃
- 仮想通貨を利用した資金調達、資金洗浄
- 第三国での調達・支払、ATMの利用
- バーター取引
- 第三国の国民の関与

出典：Pyongyang Blockchain and Cryptocurrency Conferenceウェブサイトより専門家パネル報告書

金融制裁の履行上の課題

1．情報共有の課題
- 口座情報

2．取引の検知、北朝鮮の関与の証明
- 仮想通貨
- ATMの利用

出典：Coin ATM Radarウェブサイト

制裁履行に伴う実務上の課題

- 安保理決議
- 制裁委員会
- 専門家パネル委員
- 各国の法制度
- メーカー、運送業者、金融機関

「ベストプラクティス」と各主体の協働の必要性

コロナウイルス対応措置の制裁履行に関する影響

2020年1月下旬に国境（陸路、空路）封鎖

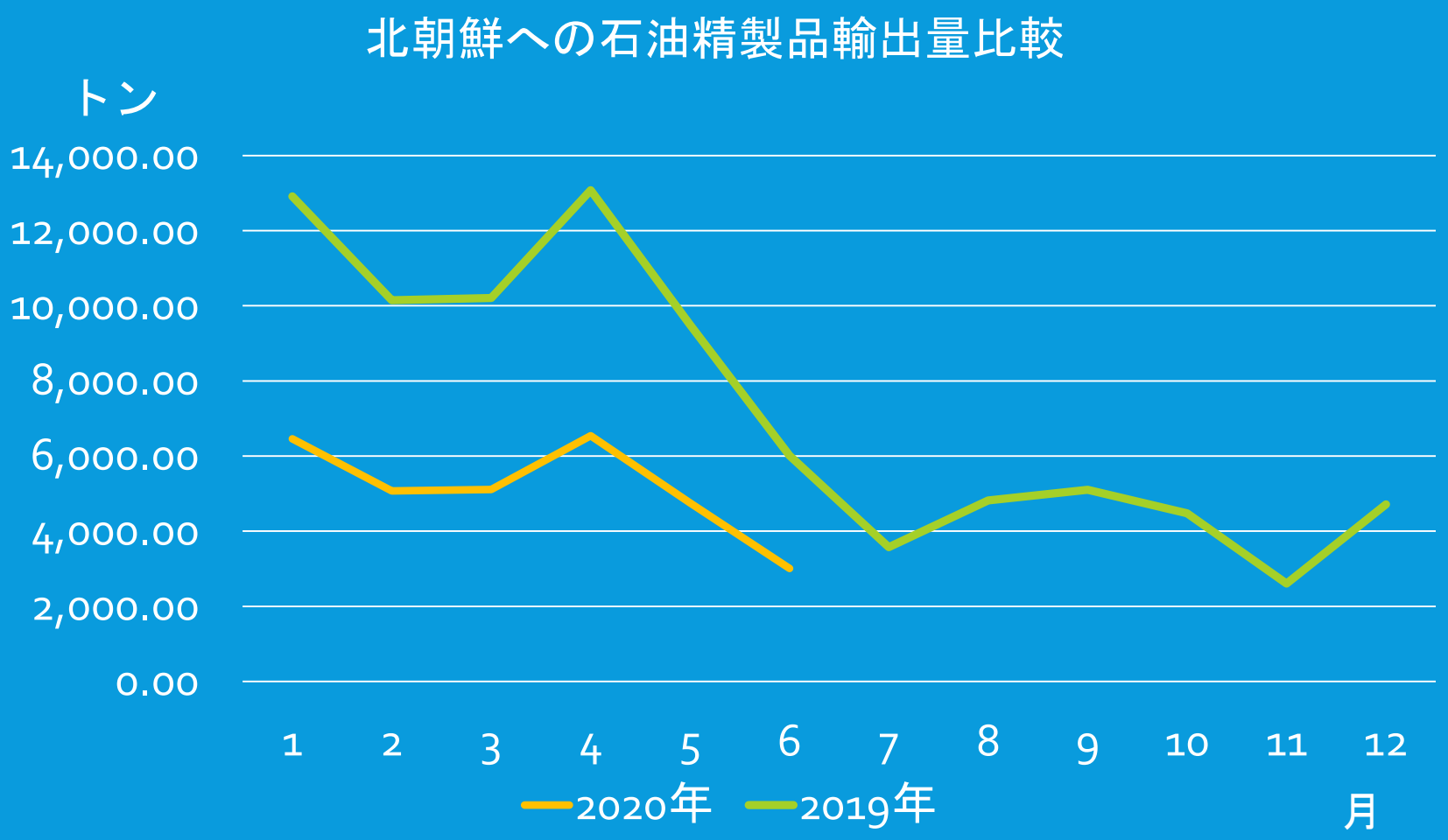
- 労働者送還
- 人道支援措置

海上輸送については、1月下旬に中断、3月下旬以降増加

- 石油精製品の輸入
- 石炭の不正輸出

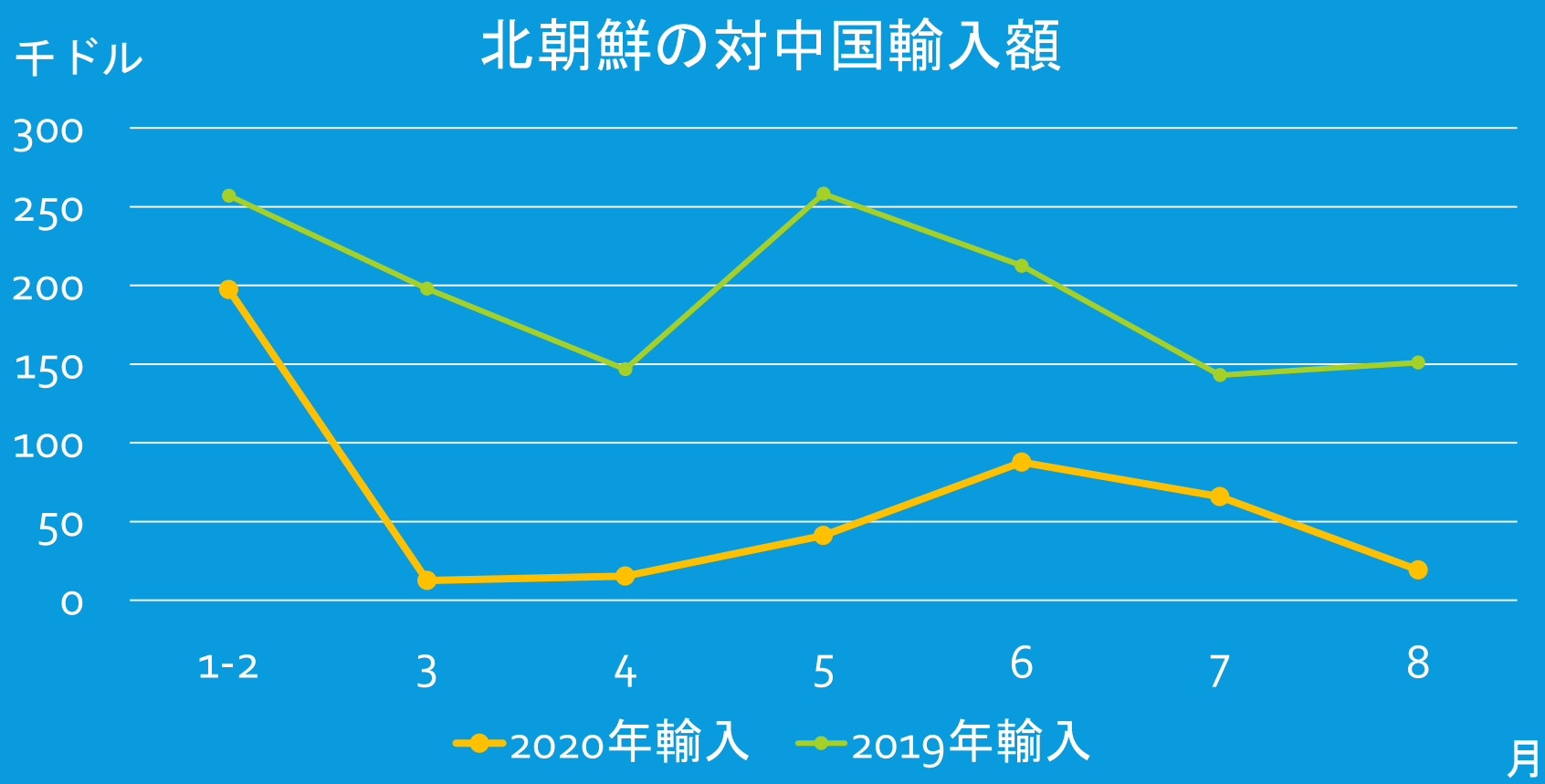
陸路による輸送は徐々に再開

コロナウイルス対応措置の制裁履行に関する影響：石油精製品



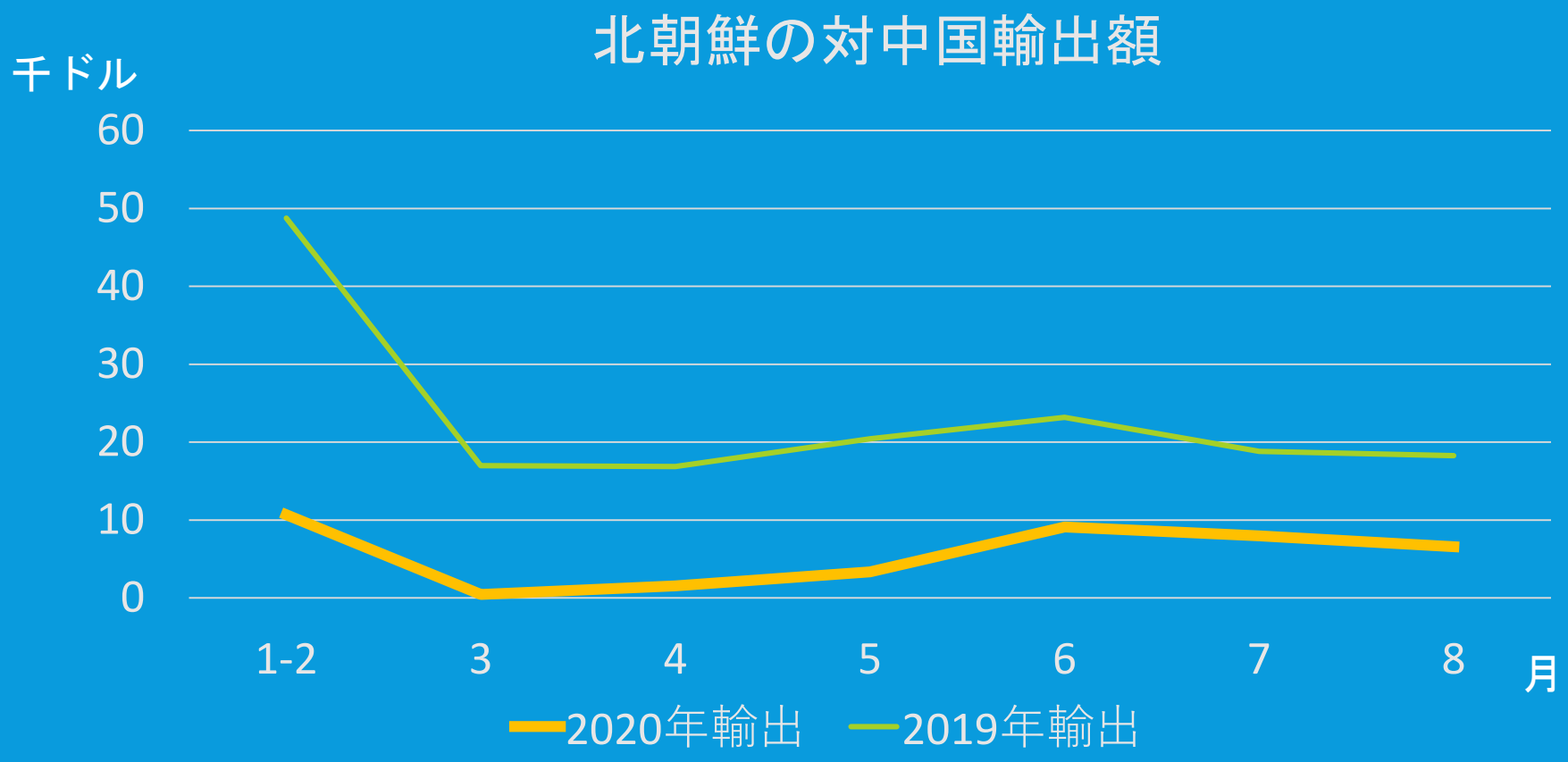
出典：中国、ロシアの申告値を基に発表者作成

コロナウイルス対応措置の制裁履行に関する影響：貿易



出典：中国税関統計を基に発表者作成

コロナウイルス対応措置の制裁履行に関する影響：貿易



出典：中国税関統計を基に発表者作成

制裁にまつわる疑問

- 国内法違反でないのに国連が調査をするのはなぜ？
- 国連制裁が「金属」の輸入を禁止しているために、金属製の医療機器なども輸入できないのではないか？
- 国連制裁で外貨獲得手段は本当に減ったのか？

まとめ

- 北朝鮮の核、ミサイル計画は引き続き継続
- 制裁違反には規制の弱点が狙われる
- 「ベストプラクティス」、各主体の協働が必要
- 制裁に対する正しい理解を広める努力が必要